

令和2年 11月号

家庭教育学級

のびっこ

恵那市生涯学習課

社会教育指導員 堀



“つながい・かかわい”は優しさの心をはぐくむ

10月はハロウィンに関連した活動を展開したところがいくつかありました。気候も良く、親子で仮装して街中を散歩する様子は周りの通行人まで幸せ感を味わえる光景です。散歩の途中で立ち寄った駅舎横に、みんなで一列に並び電車を見送りました。小さな手を振る子どもたちに気づいた乗客が車窓から手を振って応えてくれました。瞬間の出来事だけど、体の中にさわやかな秋風が通り過ぎたように感じました。散策が終わって帰り際に、〇〇ちゃんがかわいい野の花を指導員の前に差し出しました。状況が呑み込めないでぼかんとしている指導員に母親が「散歩の途中で見つけた花をエプロンおばたんにあげたいそうです」と話してくれました。もらった花を胸に刺したら、その部分があつたく優しさが広がってきたように感じました。

参加人数を調べてみると、10月は9月より親子合わせて40人（市全体）ほど増えていました。みんなが乳幼児期の家庭教育学級を待ちわびていたことが伝わってきます。うれしく感じたのは参加人数が多かったからだけではありません。☆☆ちゃんは部屋に入ってくるなり、勇気を振り絞ったようにキリッとした表情で「☆☆、エプロンおばたん、だいちゆき」と言ったとたんに、いつものにこにこ笑顔に戻っていました。母親の話では、家でちゃんと話せるように何度も練習してきたそうです。☆☆ちゃんが一生懸命、練習している姿が思い浮かびました。他にも温かい心をプレゼントしてもらいました。母親と乳幼児期の家庭教育学級に参加するために歩いてくる途中で拾ったドングリをもらいました。掌の中で転がしてみると、さっきまで小さな手で握りしめていた温かさが伝わってきます。肌のぬくもり以上に心の温かさが感じられ幸せ気分になることができました。

「野の花を誰かに」「自分の気持ちを言葉に」「ドングリに託した気持ち」どれもみんな相手を意識して行動に移しています。長い間、コロナの影響で“おうち時間”が多かったはずですが、子どもたちは家族のみんなから“つながり・かかわり”の大切さを学んでいたことが分かります。“つながり・かかわり”は自尊感情を高め、相手にも優しくできる源です。この調子で、すすすく「のびっこ」しよう！！体も心も(^_^)

手作りおもちゃでキラキラタイムを楽しんじゃおう N03

今回は手作りおもちゃを持参して、乳幼児期の家庭教育学級に参加した親子のおもちゃを紹介します。みなさんもお存じのペットボトルマラカスです。0歳から3歳くらいまで誰もが楽しめる“手作りおもちゃ”です。

【作り方】

1. 中身がなくなった容器（ペットボトルOKできれば飲むヨーグルトなどが入っていた小さめのものが子どもにとって持ちやすい）にビーズやスパンコール、きれいな小石などを入れます。
2. ふたの部分が開かないように、ビニルテープでぐるぐる巻いて完成です。水と糊を薄めて溶いたものを入れると、スパンコールがふわりと浮いて見えるのできれいです。



佐藤一斎先生の『言志四録』の教えを子育てに生かす

かい お もの よ けん み
晦に処る者は能く頭を見、
 けん よ もの かい み
頭に処る者は晦を見ず。

(言志後録64条)

暗闇(晦)にいとると明るいところ(頭)がよく見えるけれど、
 明るいところにいると暗闇の中はよく見えません。

自分がつらく苦しい状態にいると、人の悩みや苦しみ、
 痛みや悲しみがよく見えます。けれど、調子が良い時は、
 人のつらい気持ちにはなかなか気づくことができません。

つらい思いをしている人の気持ちをいつも考えられる
 人になりたいものですね。人の痛みが分かる人になろう！
 『わが身をつねって、人の痛さを知る(ことわざより)』



エーナちゃん

子どもは“足し算タイム”で成長している (_ -) - ☆

毎日を「忙しい」と感じてイライラ気味のママは“引き算思考”で生活しているのではないのでしょうか。ママは“引き算の時間”を気にした生活を送り、子どもは“足し算タイム”で成長しています。

「引き算思考？どういうこと？」「以前、何かで調べた時“足し算より引き算”の生き方が大切で、『やめてみる』生き方をすると、気楽になるようなことを読んだ記憶があるけど……。真逆のことを言っているように感じますが」の声が聞こえてきそうです。

大人は今までのいろいろな経験を積んできているので、日常生活では無意識のうちに計画や目標を立てて過ごしがちです。今日中に窓ふきと庭の雑草をとると決めてみたが、思い通りに運ばずイライラしたり不安になってきたりします。「〇日までに□□しないと」と決めても、実際は、「あれもこれも計画通りにできなかった」の引き算の時間に気が滅入ってしまうのです。

子育ても引き算で考えてしまうことがしばしばあります。「もう1歳も過ぎたから、好き嫌いなく食べられるはず。スプーンも上手く使えるように」など目標を立てて、我が子を見てしまうので、子ども側から考えると大変なことです。好き嫌いがあり、スプーンがうまく使えないと、ママの頭の中は“引き算の時間”が支配してしまうからです。

子どもは“引き算の時間”に支配されないので、すくすく成長することができるのです。「昨日よりハイハイが早くできるようになった！」「あ～あ～って、大きな声が出るようになった」「見て、見て。立っちができた。一人でできたよ」と毎日が“足し算タイム”に支配されているので、できることが増え、勢いもあるのです。見てみて！私の成長を！

